

## 社会資本整備総合交付金 事前評価チェックシート (道路事業)

計画の名称: 第2期 快適な住環境のまちづくりに向けた社会基盤づくり(防災・安全)

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
整合を図っている上位計画名を記載。	八幡平市総合計画
2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
②目標の客観性・具体性・地域性	
1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○